

(1,1)Publication number:

01-266751

(43) Date of publication of application: 24.10.1989

(51)Int.CI.

H01L 23/30 H01L 31/02

(21)Application number: 63-096158

(71)Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing:

18.04.1988

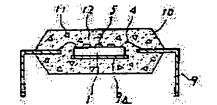
(72)Inventor: KONDO TAKASHI

# (54) PHOTO SEMICONDUCTOR DEVICE

## (57)Abstract:

PURPOSE: To realize a compact, simple, and space-saving device by mixing a powder of infrared cut glass and a fine lightscattering material into a sealing resin as a filler.

CONSTITUTION: A photo semiconductor element 1 is mounted to a die pad part 9a of a lead frame 9, a transparent resin 10 formed by the transfer mold method etc., is provided for performing sealed fixing of these, and a filler 11 for infrared rays cut and a filler 12 for scattering light are mixed within the transparent resin 10. As these fillers 11 and 12, a material which not only satisfies optic characteristics but also has a small thermal expansion coefficient, for example a crystal glass, is used. Then, the filling rate of these into resin should be 10 to 90% in terms of capacity percentage, thus enabling only needed light among inciding light passing through a package to reach the sensor part of the optic semiconductor element. It realizes a compact, simplified, and low-cost device which saves space when it is mounted to a camera etc.



# **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑲ 日 本 国 特 許 庁 (JP)

⑩特許出願公開

# ◎ 公 開 特 許 公 報(A) 平1-266751

⑤Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成1年(1989)10月24日

H 01 L 23/30

F-6412-5F B-6851-5F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

②特 顧 昭63-96158

②出 願 昭63(1988)4月18日

個発明者 近藤

隆 兵庫県伊丹市瑞原 4 丁目 1 番地 三菱電機株式会社エル・

エス・アイ研究所内

勿出 顋 人 三夢電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

19代 理 人 弁理士 早瀬 憲一

明 無 1

1 発明の名称

光半導体接置

- 2. 特許額水の範囲
- (1) 光半導体素子を透明樹脂で封止してなるものにおいて、

上記透明樹脂中に赤外カット用充填材と、この赤外カット用充填材より粒径の小さい光数乱用充填材とからなる充填材を上記透明樹脂の 10 ~ 90 容量パーセント添加したことを特徴とする光半導体装置。

3. 発明の詳細な説明

( 強葉上の利用分野 )

との発明は光信号の投受において機能する光半 球体装備に関するものである。

[従来の技術]

第2図は従来の光半導体装置の一例を示す部分 破断側面図で、(IIIは光半導体素子、(2) はこの光半 導体素子(II) が接着されたパッケージ、(3) はパッケ ージ(2) に設けられ、光半導体架子(I) に電気的接続 をするためのリード、(4) は光半導体案子(1) とリード(3) とを接続する導線、(5) は光半導体案子(1) のホトセンサ部の上に重ねて設けられ赤,育,緑等の光を選択的に透過させるフイルタ部、(6) は光半導体業子(1) を気密に保持し、光を自由に透過させる透明なガラス板、(7) はこの光半導体装置をカメラ等に組み込むときに必要となる赤外カット用ガラス板、(8) は先散乱板である。

ての従来装置の動作は、上記構成の説明から明 らかであるので、その説明は省略する。

(発明が解決しようとする課題)

従来の光半導体装置では、 このように、 光散乱板や、 余分な光をカットする赤外カット用フイルタ板を必要とするので、 カメラへの装着部品が多くなる。 そして、 これらの光学用フイルタ板等 は高価なので、 装置全体が 非常に高価になるという課題があつた。

この発明は以上のような課題を解決するためになされたもので、小形・簡略で、省スペースも選成できる光半導体装置を得ることを目的とする。

特開平1-266751(2)

## (課題を解決するための手段)

この発明になる光半導体接種は透明樹脂による 樹脂對止構造とし、その對止樹脂中に赤外カット ガラスの粉末や、微細な光散乱材をフイラとして 混入させたものである。

#### (作用)

この発明では、光半導体集子を封止する透明樹脂に赤外カットガラスの粉末および微細な光敏乱材をフイラとして混入させたので、それ自体で赤外カットフィルタ特性を示し、光敏気作用をはたし、極めて簡略な構成となる。

### [实施例]

第1図はこの発明の一実施例の構成を示す断面図で、第2図の従来例と同一符号は同等部分を示す。図において、(8)はリードフレームで、そのダイバッド部 (9a) には光半導体素子(1)が接着される。回はこれらを封止固定するためにトランスファーモールド方法等によつて成形された透明樹脂(1) および(2)はそれぞれ透明樹脂(10)の中に配合されている赤外カット用充填材および光拡散用充填材

半導体装置は小形,簡略化が可能で、安価にでき、 カメラ等に実装したときのスペースを小さくでき る。

## 4. 図面の商単な説明

第1図はこの発明の一変施例の構成を示す断面図、第2図は従来の光半導体装置の一例を示す部分破断側面図である。

図において、(1) は光半導体素子、四は對止透明 樹帽、(11) は赤外カット用充填材、(2) は光拡散用充 填材である。

なお、図中同一符号は同一または得当部分を示す。

代理人 早 瀬 憲 一

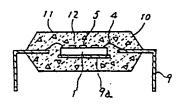
で、これらの充與材は単に光学特性を満足するの。 みではなく、熱能提係数の小さい材料、例えば石 英ガラス等を用いる。そして、これらの樹脂への。 充填率は容益百分率で、10~90%が窒ましく、10 %以下では光学特性、すなわち赤外線のカットと 十分な散乱光が得られない。また90%を越えると、 樹脂の成形が困難になる。

とのよりに、赤外カットフイルタ特性を有する 充填材や、光散乱作用を行う充填材を配合した適 明モールド樹脂を用いて、光半導体素子を直接対 止することによつて、この光半導体素子のセンサ 部にはパッケーツを通過する入射光のうち必要な 光だけが到速するようになる。そこで、光半導体 果子としては、オートホワイトバランス素子等の 小形で低価格が受求されるカメラ用センサデバイ スとして有効である。

### [発明の効果]

以上説明したように、この発明によれば、赤外 カット用充填材および光散乱用充填材を配合した 透明樹脂で光半導体案子を直接封止したので、光

第 1 図



1:光平導体表子 10: 討止透明樹脂 11: 苯外加州用充填材 12:光 数乱用充填材

第2图

